

授業科目 作業療法適用計画学

【担当教員名】 矢谷令子	対象学年	3	対象学科	作業療法
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

<一般目標：G I O>

作業療法に用いる「作業」を対象者の個人別ニーズにどのように適用していくか、その論理について学ぶ。あわせて作業療法計画立案法を

<行動目標：S B O>

1. 本教科の修得にあたり、履修科目を想定し、本科との関連性について述べるができる。
2. 作業療法の計画立案の一連の流れを概略説明することができる。
3. 「作業」の適用についての論理を友人と意見交換できる。
4. 作業療法実践の流れに沿って自己学習することができる。
5. 同上
6. 同上
7. 作業療法計画立案を友人と交換し、チェックしあうことができる。
8. チェックリストについて質疑応答をし、自己評価することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	作業療法実践の仕組み	1, 2	講義
2	観察 評価、ICF分類、作業療法適用の理論	3	講義、討議
3	作業療法実践工程の分析（以降は、臨床実習IIで担当した事例を基に学習します）	4	講義、演習
4	作業療法適用と作業療法計画（1）	5	講義、演習
5	作業療法適用と作業療法計画（2）	6, 7	演習
6	作業療法適用と作業療法計画（3）	6, 7	演習、発表、討議
7	発表と討議	8	講義、討議

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	作業療法実践の仕組み	矢谷令子他	協同医書	2001年、¥3500
参考書				
その他の資料	配布資料、Working Sheet、他			

【評価方法】		【履修上の留意点】
Working Sheet提出	70%	自己学習型作業が中心となります。
自己点検・評価	30%	自己評価能力を涵養します。